

製品安全データシート

1. 製品および会社情報

製品名： ペット用 滑り止めワックスプレミアム抗菌消臭プラス
会社名： 株式会社ステップソリューション
住所： 大阪市東住吉区西今川1-11-2
担当部門： 品質管理 / 担当者： 涌田 幸助
電話番号： 06-7164-7101
FAX番号： 06-7897-8197
緊急連絡先： 080-4706-0128

2. 組成、成分情報

単一物質/混合物の区別： 混合物
化学名もしくは一般名： 床用コーティング剤
主たる用途： 床用コーティング
成分及び含有量： 高分子ポリウレタン樹脂エマルジョン、アクリル系樹脂エマルジョン、アルカリ可溶性樹脂、ポリエチレンエマルジョン、グリコール、レベリング剤、トリブトキシエチルホスフェート、消臭剤、抗菌剤、水

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性： 該当しない
有害性： 該当しない
物理的及び化学的危険性： 該当しない
特定の危険有害性： 該当しない
分類の名称（日本式）： 該当しない

4. 応急措置

目に入った場合： 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗い、医師の診断を受けること。洗眼の際、まぶたの裏側まで水が行き渡るように洗うこと。
皮膚に付着した場合： 大量の水および石けん又は皮膚用の洗剤を用いて十分に洗い落とす。外観に変化が見られたり、痛みなどが続く場合は医師の診断を受ける。溶剤シンナーは使用しないこと。
吸入した場合： 適切な呼吸保護器を使用して、当人を速やかに暴露場所から移動させる。もし呼吸が停止している場合、人工呼吸を行う。安静にしておく。速やかに医師の手当を受けさせること。
飲み込んだ場合： 誤って飲み込んだ場合、無理に吐き出そうとはならない。安静にし、速やかに医師の手当を受けること。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水、炭酸ガス、泡、粉末、ドライケミカル等の一般消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤 : 知見なし
- 特定の消火方法 : 火災にさらされた表面を冷却することと、可燃性の物を周囲から取り除き、適切な保護具（耐熱着衣など）を使用し、消火する。
- 火災時の特定有害性 : 燃焼などによりCOなどの有害ガスを発生する恐れがある。
- 消火を行う者の保護 : 呼吸用保護具等を着用する。
-

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用し、飛沫が皮膚等に付着したり、吸入しないようにする。
- 環境に対する注意事項 : 河川、湖沼などへ排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。流出させた場合には地域の規則に従う。
- 除去方法 : 多量に漏出した場合、土のう等で拡散を防止し、凝集・凝固剤等で凝集措置をした後、回収する。少量の場合、乾燥砂、土、ウエス等に吸収させて回収する。
- 二次災害の防止策 : 漏出した場所周辺には、関係者以外の立ち入りを禁止する。万一河川、湖沼等公共水域に流出した場合、直ちに所轄の公害担当者に連絡する。
-

7. 取扱いおよび保管上の注意

<技術的対策ならびに注意事項>

- ・ 周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
- ・ 静電気対策のため、装置等は設置し、電気機器類は防爆型（安全増型）を使用する。
- ・ 工具は火花防止型のものを使用する。
- ・ 換気のよい場所で取り扱う。
- ・ 一度、容器から出した液は元の容器へ戻さない。
- ・ 取り扱いの都度、容器は密閉する。
- ・ 容器の移動並びに開封時には注意して取り扱い、漏出や飛沫の飛散を防止する。
- ・ 残液を排水溝に流さない。

<安全取り扱い注意事項>

- ・ 火気厳禁。 静電気、衝撃火花などによる着火源が生じないように注意する。
- ・ 皮膚に触れないよう、目に入らないよう、また蒸気を吸入しないように注意する。
- ・ 必要に応じ保護具を着用する。

<適切な保管条件>

- ・ 漏洩の防止。
- ・ 日光の直射を避け、40℃以上の高温の場所での保管は避ける。
- ・ 高温物を近づけない。
- ・ 異物混入のないこと。

その他 : 消防法などの法令の定めるところに従う。

<安全な保管包装材料>

- ・ 小分け容器等は、内容液により溶解しない材質のものを選定する。
-

8. 暴露防止および保護措置

保護具

- ・目の保護 : ゴーグル等を使用する。
- ・手の保護 : ゴムもしくはビニール保護手袋を使用する。
- ・皮膚および身体の保護 : 長袖作業着、必要に応じ保護服及び保護長靴を着用する。
- ・呼吸系の保護 : 通常の使用では必要としないが、もし必要なら有機ガス用防毒マスク等を着用。
適切な衛生対策
- ・保護具は決められた場所に保管し、有効期限が切れたものは使用しない。望ましくは、手洗い、洗顔設備等を取り扱い場所近くに設置する。

9. 物理的および化学的性質

- ・形状 : 乳白色液状 ・引火点 : なし
- ・色 : 乳白色 ・発火点 : なし
- ・におい : 低臭 ・蒸気圧 : データなし
- ・沸点 : 100℃ ・密度(比重) : 1.04 (25℃)
- ・融点、凍結点 : -1℃ ・溶媒への溶解性 : 水に任意に溶解
- ・分解温度 : データなし ・粘度 : 7.0~11.0 mPa・S (25℃)
- ・その他 : 特になし

10. 安定性および反応性

- ・安定性 : 通常の状態では安定
- ・反応性 : 通常の状態では安定
- ・自己反応性 : なし
- ・発火性 : なし

11. 有害性情報

- ・急性毒性 : データなし
- ・局所効果 : データなし
- ・感作性 : データなし
- ・慢性・長期毒性 : データなし
- ・発がん性 : 配合原料全てにおいて特筆すべき報告はない。
- ・変異原性 : 配合原料全てにおいて特筆すべき報告はない。
- ・催奇性 : 配合原料全てにおいて特筆すべき報告はない。
- ・生殖毒性 : 配合原料全てにおいて特筆すべき報告はない。

12. 環境影響情報

原液および洗浄廃液を一般環境内に排出させない。

河川、湖沼などに流入すると広範囲に渡り白濁し、環境に影響を及ぼすことが考えられる。

- ・移動性 : 知見なし
- ・残留性/分解性 : 知見なし
- ・排水基準を定める総理府令別表1に掲げる有害物質を含まない。
- ・生態蓄積性 : 知見なし

- ・生態毒性 : 知見なし(魚毒性)
 - ・その他 : 特筆すべきデータなし
-

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

- ・関連法規制及び地域の条例、規則に従い処理又は、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ委託処理する。
- ・容器、機器装置等を洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さない事。
- ・排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託処理する事。
- ・「毒物及び劇物の方法に関する基準」に従って処理をする。

汚染容器・包装

- ・空容器等を廃棄する場合は、水洗いなど内容物を完全に除去した後処分する。
 - ・地域の条例、規則に従い処分又は、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ委託処分する。
-

1 4. 輸送上の注意

- ・国内規制 : 取り扱い及び保管上の注意の項の記載事項を参照のこと。
 - ・国連分類 : 該当しない
 - ・国連番号 : なし
 - ・輸送時の特定の安全対策及び条件 : 運搬に際しては輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどが無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
-

1 5. 適用法令

- ・化学物質管理促進法 (P R T R 法) : なし
 - ・消防法 : なし
 - ・労働安全衛生法 (有規則含む) : なし
 - ・毒物及び劇物取締法 : なし
 - ・船舶安全法 : なし
 - ・航空法 : なし
-

1 6. その他の情報

- ・記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づき作成しており、新規知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の手続きを対象としたものであり、特殊な取り扱いの場合は、用途や用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。記載内容は、情報の提供であって保証するものではありません。